

東葛ユニオン通信

第68号 2019年12月号

発行:千葉東葛ユニオン

発行責任者: 金子 政信

〒277-0831 柏市根戸406-4

TEL/FAX 04-7132-8710

労働相談は 04-7132-8710 実績10年

メール: tokatu-center@tokatunokai-union.com

H P: <http://www.tokatunokai-union.com>

介護ではたらくみなさんの労働組合
東葛介護ユニオンへ入ろう!

…11月号(第67号)に引き続き、特養東松戸ヒルズ関連の続報です…

社会福祉法人陽光会・特養東松戸ヒルズ(松戸市紙敷1065-4)、今度は施設利用者(入所者)の暴力で障害を負ったFさんを解雇。



Fさんは2017年2月の暴力事件で障害者となり、これまで治療を重ねてきました。9月に主治医から軽減勤務での職場復帰可能の診断を受け職場復帰願を提出しましたが、陽光会は職場復帰を拒否、11月解雇してきました。

社会福祉法人が仕事中心に入所者の暴力で障害者となった職員を放り出す、こんな冷たい仕打ちには許されません!

11月18日、陽光会恩田雄一理事長(東松戸ヒルズ施設長)はFさんを解雇(休職期限切れによる)しました。

その理由としてFさんが職場復帰にあたり恩田理事長の指示に従わなかったからというのです。

Fさんが2017年2月に入所者からうけた暴力による受傷で、最初のP医師の診断は「頸髄捻挫」で、その年10月31日に「症状固定」(これ以上よくなる)と診断されました。その後悪くなる一方なので、2018年1月H医師に受診、「頸髄損傷」と診断され、今日なお治療を継続中です。これまでに、Fさんは厚生障害年金の認定、松戸市の身障者手帳交付などをうけ「障害者」となっています。

今年9月、H医師から「右上肢の安静(ほぼ廃用です)」(右手が使えない状況)であるが、当面半年くらいの期間は短縮勤務により

職場復帰可能との診断を受け、恩田理事長に、10月16日から1日2時間週3日程度の勤務でその後勤務時間数を増やしていく方法での職場復帰を願い出ました。

…恩田理事長の指示は? 辞めさせるためのいいがかり!

恩田理事長は、医師の診断とFさんの希望にそうどころか、Fさんへ「頸髄捻挫」と「頸髄損傷」の因果関係の証明、頸髄損傷が職務上の事故によることの証明、恩田理事長へP医師とH医師がすべての診療記録を提出するための同意書を提出しろ、これが復帰のための条件だと通告をしてきました。病気やケガからの職場復帰では、必要な場合は産業医を通して医師間で連携するのが一般的です。

国をあげて障害者雇用を促進している中、陽光会は障害者を放り出す、こんな冷たい仕打ちは許されません。

11/19 よりよい介護実現をめざす千葉県要請をおこないました。

11月19日、千葉労連矢澤純事務局長、東葛労連加藤智己副議長、加藤英雄日本共産党千葉県議、〃みわ由美県議、〃山口正子松戸市議も参加いただいたのよりよい介護をめざす千葉県要請をおこないました。



要請では、要望内容(別項：要請項目)にそって、県担当課から「寄せられた苦情・通報で事前通告なしでも実地検査もありうる、問題によって改善指導、改善命令をしている」「定期的実施調査で利用者とともに働いている人への法遵守が配慮されているか確認している」「(実習生、留学生)が介護職場ではたらく場合、配置基準の一人は一人とされる」と回答、介護ユニオンから職場実情にふれながら具体的な改善を求めました。

…これでは介護は崩壊するのでは

「外国のみなさんが働いてくれるのは歓迎だし感謝しているが、利用者さんの話が理解できないなかでヒヤリハットが多くなり、負担はますます偏ってくる、配置基準のみなおしが必要では…」 「職場での虐待行為に管理者が耳をかさない、市へ行って話をしても聞いてくれるだけで調査にも出向かない」 (県は具体的な事実があれば調査すると回答)、短い時間の中で不十分さはあるものの初めての要請が出来ました。

しんぶん赤旗11/22号に要請内容が掲載されました。

要請項目(要旨)

1. 介護従事者、施設利用者家族などからの介護をめぐる非違行為などに関する申し出に対し、施設への事前通告なしの調査と回答を
2. 利用者からの暴力的加害行為による職員被害救済のため、損害保険などの加入義務化を
3. 時間外労働の「分単位切捨て」禁止と休憩の完全取得、年次有給休暇の付与、退職強要による自己都合退職扱いなど労働基準法等労働関連法の法令遵守の徹底
4. 外国人の介護職場での雇用では、日本語能力N3レベル程度とし、職場でのヒヤリ・ハットに対応できる研修実務を義務付け
5. 国の介護職員配置基準を上回る県市独自の配置基準により安全と安心の介護の実現

過酷な介護労働是正を
千葉施設職員ら県に要請

千葉県の東葛介護ユニオンと、松戸市内の介護施設職員らは19日、介護従事者の労働問題について、県に要請しました。日本共産党の加藤英雄、みわ由美、美阿県議、山口正子松戸市議が同席しました。

要請書は▽介護従事者、施設利用者などからの非違行為に関する県や市の調査と回答▽利用者からの暴力の被害に「日本語能力不足の外国人労働者に通常業務を任せられず、結果ほかの職員の負担が重くなっている」との声が。職員による利用者への虐待行為など、深刻な実態も明らかにされました。参加者は、国の職員配置基準が実態に見合っていないことを指摘し、県市独自の基準での配置を求めました。

現場からの通報を受け立ち入り検査、改善指導などを行っている。健康福祉指導課は「介護の外国人人材のニーズが高まり、語学研修は充実されると思われ」と答えました。

東葛介護ユニオン

**労働相談・組合加入大歓迎！
相談は無料・・・**

組合費は毎月1000円(共済含む)

**安心して働ける介護職場に
していきたい！
よりよい介護をしたい！**

**そんな仲間が集まった東葛
介護ユニオン**

問合せ・連絡先

050-1372-8622

